

「知ってほしいけど、言えない。知りたいのに、近づけない。」
ジレンマを抱える若者が6割。声にできない悩みと企業をつなぎ、
よりよい未来を考える”coe”プロジェクトがスタート

～若者のリアルなマイノリティ意識を集めた調査「サイレントマイノリティレポート」を報告～

「会社の課題」と「社会の課題」を同時解決するソリューションを提供する株式会社 SIGNING（サイニング、本社：東京都港区、代表取締役社長：亀山淳史郎、以下 SIGNING）と、「人に変化を、世界に想像力を」をミッションに掲げるメディアカンパニーCINRA, Inc.（シンラ、本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：杉浦太一、以下 CINRA）との共同プロジェクト、”coe”プロジェクト（読み：コエプロジェクト）を5月27日（金）に立ち上げました。

また、本プロジェクトのテーマでもある“サイレントマイノリティ”に着目したレポートも同時に発表いたします。

“coe”プロジェクトは、新型コロナによって生きづらさを抱え、孤立・分断している若者にむけ、彼らの悩みを肯定する企業がユーザーとの強い絆をつくり、よりよい未来をつくると考え発足しました。

独自調査の結果、他人より少々苦手なこと、小さなコンプレックスなど「なんだか、みんなと違う」と感じる悩みや課題を声にできずにいる社会現象＝“サイレントマイノリティ”に悩む若者が、6割にのぼることがわかりました（図表①）。



■サイレントマイノリティレポートでわかったこと（抜粋）

1. マイ・マイノリティの領域を調べたところ、「電話が苦手」、「過剰に反応してしまう」、「苦手な生活音がある」といった自分の性格・好みをマイ・マイノリティと感じる人が最も多かった。（図表②）
2. マイ・マイノリティを抱える10-20代の70.4%が「悩んでいる人がいることをもっと知ってほしい」と思っている一方で、74.7%の人が「相談したくても言い出しにくい」と、多くの人がジレンマを抱えていることが分かった。（図表③）
3. 他の世代と比べ若者の方が孤独をより強く感じており（図表④）、同じ悩みを抱える人とつながりあえたり、声をとどけるプラットフォームや接点を作ることが社会課題解決のヒントとなる。

【本件のお問合せ先】株式会社 SIGNING(サイニング)広報担当：高橋・中山

TEL: 03-4236-4981/E-mail: press@signing.co.jp

レポートダウンロード：<https://signing.co.jp/pdf/silent-minority-report.pdf>

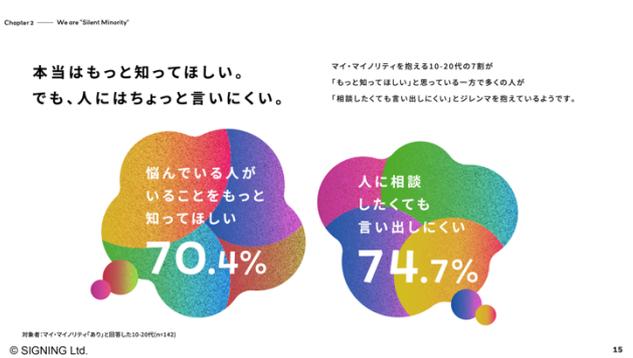
図表①



図表②



図表③



図表④



SIGNING が持つ課題解決力と、CINRA のクリエイティビティとのかけ合わせで、小さな声から課題を見つけ出し、クリエイティブとカルチャーの力を通して、よりよい未来をつくる“兆し”に変えていきます。また、彼らの声に耳を傾け”coe”プロジェクトと一緒に、新たな市場を作り課題解決していく仲間を探しています。

【用語の定義】

●サイレントマイノリティとは？

マイノリティ意識や生きづらさを声に出来ず抱えている生活者の集合体およびそれが社会現象化した状態

●マイ・マイノリティとは？

多くの生活者が抱える言葉にできない小さな悩みや生きづらさ

<参考データ>マイ・マイノリティ一覧 (抜粋)



- 【1】自分の性格・好み：電話が苦手・・・「問い合わせの電話が苦手」42歳
- 【2】身体的特徴・外見：声が特徴的・・・「声がこもりやすい。」24歳
- 【3】人間関係：人を頼れない・・・「人に何かを頼むのが苦手」35歳
- 【4】その他：「独り言が多い」26歳

■ レポート考察

今回の調査結果から、マイ・マイノリティを抱える人の多くが「相談したくても言い出しにくい」と悩んでいる一方で、当事者だけでなく周りにいる人びともまた、「悩んでいる人がいたら気軽に話したい」と思いながらも「なんと声をかけていいかわからない」というジレンマがあることが分かりました。また、カルチャーの持つ発信力やつながる力を活用することで、彼らの心の扉を開きやすくしてくれ、名もなきマイ・マイノリティを知ってもらうきっかけになるかもしれません。

市場規模としては小さいかもしれない声なきサイレントマイノリティに向き合い、一人ひとりのマイ・マイノリティに応えようとチャレンジすることが、企業のブランディングや新たな価値創造につながるのではないのでしょうか。

■サイレントマイノリティの声がひびきあう社会のための3つのアプローチ

Chapter 2 — We are "Silent Minority"

サイレントマイノリティのちいさな声が 響き合う社会をつくる3つのアプローチ



サイレントマイノリティの持つ悩みや課題を、完全に解消することはきっと難しい。

でも、ちょっとしたアイデアやクリエイティビティで、少しだけ軽くすることはできるかもしれない。

ここでは、マイ・マイノリティにフォーカスして、ちいさな声が響き合うためのいくつかのビジネスアイデア(ソーシャル・サイン)を提案します。

© SIGNING Ltd.

19

■代表者コメント

『サイレントマイノリティレポート』 亀山淳史郎コメント



今、社会課題の解決が多くの企業に求められるようになっていきます。

SDGs・カーボンニュートラル・DXといった”大文字”のソーシャルイシューへの対応が進んでいく中で、小さなパーソナルイシューの集合体が社会課題となっているケースにも対応していく必要があると考えました。今回当社の調査によって、声に出来ないマイノリティ意識が多くの生活者に存在すること＝”サイレントマイノリティ”と呼ぶべき社会現象が明らかになりました。若者世代にその傾向が強くみられることから、

その声を発信し新たな社会の兆しを作っていくために、カルチャーウェブメディア

CINRA との共同プロジェクト”coe”プロジェクトを立ち上げました。

多くのイノベーションが人の抱える悩みを解決することで生まれてきたとすると、今回見つけた小さな声たちはまだ知られることのない小さなイノベーションの種とも言えます。多くの企業・団体の皆さんとの活動を通じてこうした小さな声を響かせることで新たな社会の兆しを育てていくことをソーシャルビジネススタジオとして取り組んで参ります。

■coe PJ 概要

未来世代の若者たち一人ひとりの小さな声や悩みを拾い上げるため、SIGNING と CINRA の共同プロジェクト”coe”プロジェクトを立ち上げました。プロジェクトでは、リサーチや未来世代へのインタビュー、情報発信などを通じて、未来世代の様々な声を聞き、伝えていきます。そして、小さな声から課題を見つけ出し、クリエイティブとカルチャーの力を通して、よりよい未来をつくる“兆し”に変えてきます。

特設サイト：<https://www.cinra.net/specialfeature/coe>



■podcast 『ちいさな coe』

”coe”プロジェクトの取り組みとして、CINRA 制作の podcast 番組『ちいさな coe』を配信致します。「未来世代の小さな声を響かせる」ことをコンセプトに、なかなか表に出ることのない子どもたちの生の声を集め、ドキュメンタリータッチで音源をお届けします。まだ名前のなかった、けれどたしかにそれぞれが持っている「生きづらさ」のようなものを発見し、共有していく本番組。第1回は、子ども食堂「あーちのめし処」に集う子どもたちの声を配信致します。

配信先：

- ・ Spotify

<https://open.spotify.com/show/5A8lRo810el1HyDBHYIC1t>

- ・ Apple Podcast

<https://podcasts.apple.com/jp/podcast/coe/id1623787864>

- ・ Amazon music

<https://music.amazon.co.jp/podcasts/e41d25ac-f98b-4c37-b088-6cc9cf83ee78/%E3%81%A1%E3%81%84%E3%81%95%E3%81%AAcoe>

※各プラットフォームの読み込み状況により配信のタイミングに差異が出る可能性があります。あらかじめご了承ください。

■プロジェクトパートナー：CINRA, Inc.

CINRA, Inc.は、「人に変化を、世界に想像力を」をミッションに掲げるメディアカンパニーです。アーティストや企業、自治体などあらゆる個人やチームの思いに耳を澄ませ、多様なクリエイティブソリューションで社会や個人をインスパイアしています。自社メディア「CINRA」を運用するほか、クリエイティブ事業では、マーケティングにおける戦略立案から、サイト制作、オウンドメディア運用など、最先端のクリエイティブスキルを用いたプロダクション機能までをワンストップで行っています。

- ・ 所在地：〒155-0031 東京都世田谷区北沢 2-27-9
- ・ 代表：杉浦太一
- ・ URL：<https://www.cinra.co.jp/>

■会社概要

SIGNING は、「会社の課題」と「社会の課題」を同時解決するソリューションを提供するソーシャルビジネススタジオです。

現代のビジネス環境は、テクノロジーの進化や世界情勢の激変により、めまぐるしい変化にさらされています。そのような環境下で、多くの企業が、先の予測できない環境下で、既存のビジネスモデルや競争ルールにとらわれない、新たな成長領域の開拓を迫られています。また、こうした変化の激しい時代に社会と共生し持続的な成長を実現するための方法論として、SDGs やソーシャルビジネスへの関心も急速に高まっています。

SIGNING は、多くの企業が直面するこうした社会背景をふまえた（1）社会課題を解決しソーシャルグッドを推進していく「Social Design」、（2）事業の新たな成長機会を発見し新市場を創造していく「New Market Design」、という2つの領域に特化しています。

コミュニケーション領域にとどまらず、事業・商品・サービス開発領域まで融合した「Business Design Crosspoint」をコンセプトに掲げ、統合的なソリューションを提供してまいります。

- ・所在地：〒108-0073 東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル 16F
- ・代表：亀山淳史郎
- ・URL：<https://signing.co.jp/>

「Silent Minority Report #01」は、下記 URL からダウンロードしてご覧いただけます。

URL：<https://signing.co.jp/pdf/silent-minority-report.pdf>

【調査の概要】対象者：全国 10-60 代の男女 1000 人／調査手法：インターネット調査／実施時期：2022/4/22～4/24／調査機関：株式会社マーケティングアンドアソシエイツ

他にも SIGNING では以下のレポートも発表をしております。あわせてご覧ください。

■Social Sign Report

社会課題に対する生活者の意識・行動を海外比較で研究したレポート。

URL：<https://signing.co.jp/pdf/social-sign-report.pdf>

■ザ・ウェルビーイングレポート Vol.1

α世代～100歳までの新しい幸福感=ウェルビーイングに関する調査・分析したレポート。

URL：https://hdy-matrix.co.jp/well-being/pdf/report_20220105.pdf

■Covid-19 Social Impact Report Vol.1~4

ポストコロナの生活者の意識や行動の変化を調査・分析したレポート。

URL：<https://signing.co.jp/report/#social>